



新毎日

6月1日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



WOTAが救う水の世紀

「水球」である地球では、今この瞬間も様々な水問題が起こっている。水害、水を巡っての戦争などが多発している21世紀、いわば「水の世紀」へのソリューションを提案したWOTA株式会社の前田瑤介社長を取材した。

(高野明)

「エアコンみたいに

水道設置」

現在一般的な上下水道のシステムである「大規模集中型上下水道システム」は様々な課題を抱えている。例えば、水道がひかれていない地域での導入には多くの時間がかかる。水道システムがすでに広がっている地域でも、建設するには数年を要する。さらに、一部が破損するだけで地域全体に響きやすいなど、災害にも弱い。その破損部を修理し、再び水が使えるようになるには、またさらに時間がかかってしまう。

「エアコンのように1日で設置や修理ができればな」と考えた前田社長は、各家



庭で水の循環が完結する

「小規模分散型水循環システム」をコンセプトに製品の開発を進めている。従来の大規模集中型上下水道システムとは異なり、家庭はもろろんのこと、現在水道の通っていない地域でも1日で設置ができる。さらに災害に強い製品で、水不足をはじめとした世界の水問題の解決を目指す。

(蘆田莉桜、山本茉朋)

水問題にWOTAを

世界中で水不足が深刻化する中、注目されているのがWOTAだ。「WOTA BOX」では、現在使われている上下水道の約10万分の1の大きさで、98%の水を再生することができる。

また、99.9999%以上の細菌やウイルスを除去するという高い安全性を誇り、小型で高再生率、飲用可能な製品はWOTAだけ

である。そのため、上下水道をひくことが難しい山小屋や、ライフラインがストップしてしまう災害時に使うことができる。また、日本のみならず水不足が問題となっているカリブ海の島などでも導入が検討されている。

(藤井菜緒)

見えない水から見える水へ

WOTAの良い点として、自分たちが使っている水を近くで見ることができるといふ点が挙げられる。



現在の水道システムでは、私たちにどのように水が供給されているのかが分からない。そのため知らず知らずのうちに多くの水を使っていることがある。それに対して、WOTAはどのように水が循環されているのか見ることができ。私たちが日本人にとって水問題とは縁遠いものであると思いがちだが、その仕組みを知ることによって、水に対して意識を変えることができるのではないだろうか。

(上北美羽)

これからの私達と水

水源に溢れる日本で暮らす我々は、水不足に対する危機意識が低くなりがちだ。しかし、将来の人口減少や過疎化による影響を考えれば、決して他人事ではない。ものづくりを得意とする日本だからこそ、WOTAのような技術で自国だけでなく世界の深刻な環境問題に向き合い、貢献していくことができるのは誇らしい。WOTAの「見える」技術は人々の意識改革にも繋がるであろう。自宅で再生した水を使って料理や入浴をする時代になることを想像すると心躍らされる。

(舛田伊鞠)

◇水の豆知識

・スカイツリーは世界最大の雨水貯留タンクがついていて「天の水を集める木」と呼ばれている!

・実は宇宙船も水をリサイクルしている!

(高野明)